

番号	件名	主管部課
1	「令和5年度宇都宮市健康づくり事業者表彰」について	[保健福祉部] 健康増進課
2	「宇都宮市自治会シンポジウム」の開催について	[市民まちづくり部] みんなでまちづくり課
3	「第30回記念 2023 ジャパンカップサイクルロードレース」開催結果の概要について	[経済部] 都市魅力創造課
4	「第29回全日本自転車競技選手権大会シクロクロス」の開催概要について	[経済部] 都市魅力創造課

※ 上記件名を左クリックしていただくと、該当ページに遷移できます。
(後日、公表資料を市HPにおいて掲載)

「令和5年度 宇都宮市健康づくり事業者表彰」 について

保健福祉部 健康増進課

令和5年度 健康づくり事業者表彰 26社を選定！ ～事業所ぐるみの健康づくりが、健康経営の原動力に～

本制度は、社会全体の健康づくりの意識醸成を図ることを目的に、従業員の健康づくりに積極的に取り組んでいる市内事業者を表彰するものであり、今年度は、26社を選定しました。

表彰事業者においては、禁煙成功者と非喫煙者への手当の支給や、健康管理アプリを活用した従業員のウォーキングイベントの実施など、特徴的な取組を積極的に推進しており、本市といたしましては、各種広報媒体や、この度新たに製作したオリジナルロゴマークを活用した周知・啓発により、働く世代の健康づくりを推進してまいります。

なお、表彰式は、1月24日午前10時から、保健所大会議室において開催いたします。



宇都宮市健康づくり事業者表彰
▲オリジナルロゴマーク

<デザインコンセプト>

- ・ 心と体の両方を大切にしたいという意味を込めて、人がハートを守るデザイン
- ・ 周りの黄色の図形は「大いちょう」をモチーフとしており、市民をイチョウが見守っているイメージ

(制作:宇都宮メディアアーツ専門学校
ビジュアルデザイン科1年 永山美織 さん)



令和4年度健康づくり事業者表彰式の様子

宇都宮市健康づくり事業者表彰式



1 表彰基準

市内に事業所を有する事業者で、従業員の健康づくりについて、労働安全衛生法等に定められている取組を遵守したうえで、さらに下記の①～④全ての項目において積極的な取組を行っていること。



①特定健康診査・
がん検診の受診勧奨



②たばこ対策



③心の健康づくり



④運動、食生活の改善、
その他の健康づくり

2 応募状況

令和5年9月～10月中旬の募集期間中に
26社が応募

3 選考経過

宇都宮労働基準監督署や栃木産業保健総合
支援センターなどの外部委員を含む
「宇都宮市健康づくり事業者表彰選考委員会」
において選考

【参考】

＜事業開始以降の表彰事業者数（155社）＞

継続事業者：151社，継続率：97%

H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度
31社	21社	29社	23社	25社	26社

＜表彰事業者のインセンティブ＞

- ・表彰事業者名やその取組を様々な媒体でPR
- ・入札参加資格審査項目の加点対象
- ・「うつのみやCSRまちづくり貢献企業」の認証項目対象
- ・ハローワーク求人票へ受賞歴を記載

令和5年度 宇都宮市健康づくり事業者表彰について

4 表彰事業者 26社（建設業，情報通信業，小売業など） ※ 事業者名の順序は五十音順

No.	事業者名	業種	従業員数	No.	事業者名	業種	従業員数
1	株式会社 アペックス 宇都宮営業所	小売	12	14	株式会社 中央保険事務所	金融業・保険	12
2	株式会社 小川組	建設	6	15	東栄電設 株式会社	建設	14
3	有限会社 KANEHON	小売	7	16	株式会社 栃木ファミリー	金融業・保険	19
4	北関東工管 株式会社	建設	38	17	トヨタカローラ栃木 株式会社	小売	531
5	河内山工業 株式会社	建設	21	18	ならでわ 株式会社	情報通信	8
6	株式会社 コジマ	小売	4653	19	株式会社 庭野建設	建設	11
7	株式会社 サクシード	専門・技術サービス	31	20	根本塗装 株式会社	建設	10
8	株式会社 新成エンジニアリング	建設	22	21	日下田工業 株式会社	建設	25
9	成常建設 株式会社	建設	28	22	株式会社 廣野鐵工所	製造	16
10	有限会社 清明建設	建設	13	23	福田土木造園 株式会社	建設	15
11	株式会社 ダイミック	建設コンサルタント	23	24	有限会社 誉幸電気工業	建設	5
12	有限会社 高橋佑知商店	採石	3	25	株式会社 六治建設	建設	9
13	中央測工 株式会社	サービス	15	26	株式会社 YTCコーポレーション	小売	5

5 表彰事業者における特徴的な取組事例（全表彰事業者の取組については別紙のとおり）



事業所名 【業種（従業員数）】	特徴的な取組
有限会社清明建設 【建設業（13名）】	人間ドッグ費用全額補助，再検査費用を全額補助，再検査の結果報告を義務化
株式会社廣野鐵工所 【製造業（16名）】	禁煙成功者と非喫煙者に健康増進手当として毎月1,000円支給
株式会社コジマ 【小売業（4,653名）】	民間の健康管理アプリを使用したウォーキングイベントの実施

6 表彰式

(1) 日時

令和6年1月24日（水）午前10時00分から午前11時00分まで

(2) 会場

宇都宮市保健所 大会議室

7 今後の取組

- ・ 表彰事業者の取組を，市広報紙やホームページ「職場における健康づくり応援サイト」で紹介
- ・ 取組内容をまとめた「宇都宮市健康づくり事業者表彰取組事例集」を作成
⇒ 宇都宮商工会議所や宇都宮市地域・職域連携推進協議会の構成団体等との連携により，多くの市内事業者に取り組事例を周知し，働く世代の健康づくりを促進

「宇都宮市自治会シンポジウム」の 開催について

市民まちづくり部 みんなでまちづくり課

「誰もが参加しやすい自治会づくり」に向けて、一緒に考えてみませんか ～「宇都宮市自治会シンポジウム」参加者募集～

将来にわたっての地域コミュニティの維持を目指し、宇都宮らしい未来の自治会のあり方について考えることで、自治会参加への機運醸成を図る「宇都宮市自治会シンポジウム」を開催します。

シンポジウムでは、「誰もが参加しやすい自治会づくり」について、若者や女性、働く世代などそれぞれの立場で考え、実践につなげるためのコンセプトスピーチやディスカッションなどを実施しますので、是非、ご参加ください。

1 開催日時等

- ・開催日時 令和6年2月3日（土） 13:00～16:00
- ・場所 ライトキューブ宇都宮 中ホール
- ・対象 自治会長及びその他役員、地域でまちづくりに取り組む学生や女性等、自治会に関心のある市民
- ・定員 300名

2 主催

宇都宮市自治会シンポジウム実行委員会
一般財団法人自治総合センター

3 後援 総務省



みんなで参加！うつのみやスタイル！

宇都宮市自治会シンポジウム

地域で「自治」を進めるためには、世代や立場を超えた自治会参加が大切です。100年先も続く宇都宮を目指し、未来に向けて、宇都宮市ならではの市民参加＝「うつのみやスタイル」をみんなで探求しましょう。

日時 2024年2月3日（土） 13:00～16:00

会場 ライトキューブ宇都宮 3階中ホール

参加費 無料 定員 300名

対象 自治会活動や地域づくりに関心がある市民

内容

- 1 コンセプトスピーチ
「誰もが参加しやすい自治会」
講師 合同会社 フォーティ R&C 代表 地域活性化・まちづくりコンサルタント 水津 陽子さん
プロフィール 1998年に独立開業。地域活性化・まちづくりの企画コンサルティング、講演、調査研究、執筆多数。2021年度総務省「地域コミュニティに関する研究会」構成員。
- 2 パネルディスカッション
& みんなでディスカッション
テーマ① 「女性が変える地域活動」
NPO法人うつのみやオリブ 橋村 英美子さん
笠野地区連自治会 会長 百原 順二さん
テーマ② 「企業が活きる地域づくり」
株式会社AXIA 水野 純さん
江曽島4丁目自治会 会長 山口 朝昭さん
- 3 ポスターセッション
事例紹介の展示ブースで活動者との意見交換

主催：宇都宮市自治会シンポジウム実行委員会 / 一般財団法人自治総合センター 後援：総務省

4 全体テーマ 「みんなで参加！うつのみやスタイル！」

「誰もが参加しやすい自治会づくり」に向け、自治会役員をはじめ、若者や女性、働く世代、企業など、それぞれの立場で考える宇都宮らしい未来の自治会の在り方について話し合う。



5 登壇者

○コンセプトスピーチ

地域活性化・まちづくりコンサルタント

合同会社フォーティR&C 代表 水津 陽子 氏

地域資源を活かした地域ブランドづくり、観光振興、協働推進や自治会・町内会活性化など、地域活性化・まちづくりに重点を置いた企画コンサルティング、講演、調査研究、執筆活動を行っている。



水津 陽子 氏

○コーディネーター

宇都宮大学 地域デザイン科学部 コミュニティデザイン学科

准教授 石井 大一郎 氏

栃木県内外で、総合計画等の計画策定や、協働のまちづくり、学校と地域の連携、NPO支援に関わる委員を数多く務める。また、自治会長等を対象とした研修、自治体職員向けの地域自治や協働、ファシリテーションに関する研修の講師などを行っている。



石井 大一郎 氏

6 シンポジウムの内容

プログラム	テーマ	内 容	登壇者等
<ul style="list-style-type: none"> ・主催者挨拶 ・来賓挨拶 	—	—	<ul style="list-style-type: none"> ・主催者 藤原 由房 委員長 ・来賓 佐藤 栄一 市長
第1部 コンセプト スピーチ	「誰もが参加しやすい自治会」	「誰もが参加しやすい自治会づくり」に向けた先進事例の紹介を基に、参加者が自分ごととして考えるきっかけとなる話題を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・講師 水津 陽子 氏
第2部 <ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッション ・みんなでディスカッション 	1 「女性が変える地域活動」 2 「企業が活きる地域づくり」	<ul style="list-style-type: none"> ・パネルディスカッション 自治会と連携して事業を行うNPOや企業の事例発表から、「誰もが参加しやすい自治会づくり」に向けた取組について議論を行う。 ・みんなでディスカッション 参加者同士が「誰もが参加しやすい自治会づくり」について、それぞれの立場で実践していくこと等を話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーター 石井 大一郎 氏 ・コメンテーター 水津 陽子 氏 ・パネリスト テーマ① NPO法人うつのみやオーリーブ 梅村 英美子 氏 豊郷地区連合自治会 会長 首藤 慎二 氏 テーマ② 株式会社AXIA 永祚 純 氏 江曾島4丁目自治会 会長 山口 和昭 氏
第3部 ポスター セッション	—	高い自治会加入率を維持する自治会をはじめ、外国人との地域連携、大学生による地域づくりなどの事例を紹介するブースの出展及び参加者との交流機会を創出する。	みやのもり自治会 宇都宮大学附属地域デザインセンター 清原地区国際交流会 など

7 開催後の情報発信

シンポジウムのアーカイブ動画を製作し、市ホームページやYouTubeで配信

8 今後のスケジュール

令和5年12月11日	参加者の募集開始
令和6年1月19日	参加者の募集締切
2月3日	自治会シンポジウムの開催

9 申し込み方法

チラシ裏面の申込用紙を宇都宮市自治会シンポジウム実行委員会事務局あてFAX
または、電子申請共通システムの申込フォームから、申し込みをお願いします。



←電子申請共通システム

「第30回記念 2023 ジャパンカップサイクルロードレース」 開催結果の概要について

経済部 都市魅力創造課

第30回記念大会に13万人が熱狂！

～ 世界トップレベルのレースを通して「自転車のまち宇都宮」を全世界に発信 ～

本市が世界に誇るアジア最高位の自転車ワンデイロードレース「ジャパンカップサイクルロードレース」を10月13日から15日までの日程で開催しました。

第30回の記念大会となる今大会は、「ワールドチーム」が、過去最多となる7チーム参戦し、ハイレベルで白熱したレースが展開されたほか、幅広い世代が参加して楽しめる付帯イベントの実施などにより、3日間で133,800人が来場し、経済波及効果が過去最高の31億2,200万円にのぼるなど、本市に大きな賑わいを創出するとともに、「自転車のまち」としての本市の魅力を全世界に発信しました。

今後も、世界中から注目を集めるハイレベルなレース展開や、幅広い世代が自転車の安全利用を理解し、多彩なイベントにより楽しめるよう、大会の更なる充実に取り組みます。



▲記者発表会
(9月13日：ライトキューブ宇都宮)



▲チームプレゼンテーション



▲ジャパンカップクリテリウム



▲ジャパンカップサイクルロードレース

2 開催による効果

(1) 地域経済の活性化

	2023年	2022年	今までの過去最高記録
経済波及効果	31億2,200万円	26億3,400万円	28億4,500万円(2016年)
パブリシティ効果	過去最高 7億9,289万円	—	—
来場者数 (内訳)	133,800人	129,800人	140,000人(2016年)
・チームプレゼンテーション	4,800人	3,800人	5,000人(2016年)
・クリテリウム	55,000人	50,000人	50,000人(2016年)
・ロードレース	過去最高 74,000人	76,000人	85,000人(2016年)

- ・ 節目の30回目を迎えた今大会においては、クリテリウムの来場者が過去最高の55,000人になるなど大会期間を通して、13万人以上が来場し、経済波及効果は過去最高となる31億2,200万円にのぼり、記念大会に相応しい盛り上がりを創出

【要因】

- ・ 新型コロナウイルス感染症が収束し、リピーターの観戦者数、初めて観戦にくる方の数とともに昨年よりも増加
- ・ 県外からの観戦者の増加により、宿泊費や飲食費、交通費、土産代の消費単価が増加

開催結果の概要について

(2) 大会を通じた本市の魅力発信

	2023年	2022年	今までの過去最高記録
大会映像再生回数 (内訳)	162,195回	119,055回	
・チームプレゼンテーション	14,752回	15,398回	15,398回 (2022年)
・クリテリウム	53,000回	38,211回	—
・ロードレース	94,443回	65,446回	80,600回 (2018年)
デジタル広告表示回数 (内訳)	56,222,019回	4,347,066回	
・プロモーションムービー	810,789回	1,371,298回	—
・プロモーション画像	55,411,230回	2,975,768回	

過去最高

過去最高

※宇都宮駅東口交流広場のほか全9か所のデジタルサイネージを活用した広告表示回数：74,874回

- 大会前のPRの一環として実施したデジタル広告については、デジタル表示回数が過去最高の5,600万回以上を記録
- 大会当日のレース映像等の視聴数については、過去最高の16万回以上を記録するなど、多くの方々にジャパンカップや本市の魅力を発信

【要因】

- 大会前の国内外へのPRにより現地以外での観戦者数が増加
- 発信する広告媒体を増やしたことにより、プロモーション画像の表示回数が増加

3 レースの総括

クリテリウムでは、晴天の中、序盤からラストまで世界トップクラスの「ワールドチーム」や有力選手がアタックを繰り返したハイスピードレースとなり、エドワード・トゥーンズ選手がクリテリウム史上初となる3連覇を果たし、多くの観戦者で盛り上がった。

また、30回目を迎えたロードレースでは、一転雨天だったにも関わらず、ワールドチーム勢や多数の有名選手が積極的な走りを見せる中、世界選手権を2連覇（2020年、2021年）し、ロードレース界のスーパースターであるジュリアン・アラフィリップ選手が序盤からアタックを仕掛け、2回の山岳賞を獲得したほか、優勝争いは最終周回で3人に絞られ、過去に世界選手権（2013年）を制覇したルイ・コスタ選手がラスト150mのストレートで仕掛け、ジャパンカップを初制覇し、会場内は大いに盛り上がった。

4 今後の取組

第30回記念大会の盛り上がりを活かしながら、次年度以降も、世界中から注目を集めるハイレベルなレースを展開するとともに、幅広い世代が自転車の安全利用を理解し、楽しめる多彩なイベントを開催する、世界に誇る「自転車の祭典」として大会の更なる充実に向けて取り組んでいく。

「第29回全日本自転車競技選手権大会 シクロクロス」の開催概要について

経済部 都市魅力創造課

シクロクロスの日本一が決まる

「第29回全日本自転車競技選手権大会シクロクロス」を7年ぶりに本市で開催します！

シクロクロスの日本一が決まる「第29回全日本自転車競技選手権大会シクロクロス」を1月13日、14日の日程で、7年ぶりに本市で開催します。

国内最高峰のハイレベルなレースに加え、様々なサイクルスポーツイベントや食のイベントを展開することにより、「自転車のまち宇都宮」を推進し、交流人口の増加や地域活性化を図ります。

1 開催概要

- (1) 期日 令和6年1月13日（土）、14日（日）
- (2) 主催 公益財団法人日本自転車競技連盟
- (3) 主管 宇都宮サイクルスポーツ推進委員会
- (4) 協力 栃木自転車競技連盟、
一般社団法人日本競輪選手会栃木支部
- (5) 会場 道の駅うつのみや ろまんちっく村内特設コース



2 大会日程

13日（土）

時間	カテゴリー	(参考) 昨年度全日本 エントリー数
10:30~11:00	男子マスタース 60歳~ 女子マスタース 35歳~	24人 14人
11:30~12:00	男子マスタース 50歳~59歳	76人
12:30~13:10	男子マスタース 35歳~39歳	13人
13:40~14:20	男子マスタース 40歳~49歳	60人

14日（日）

時間	カテゴリー	(参考) 昨年度全日本 エントリー数
8:30~9:00	男子U17/男子U15 女子U17/女子U15	20人/12人 2人/4人
9:45~10:25	男子ジュニア 女子ジュニア	17人 2人
11:10~12:00	男子U23	23人
13:00~13:50	女子エリート	25人
14:30~15:30	男子エリート	51人

3 今大会の主な取組

(1) 全日本選手権としてのハイレベルなレースの開催

国内最高峰の選手が日本ナンバーワンを懸けて、しのぎを削るハイレベルなレースを展開

〈注目選手〉 織田 聖 (2022-2023シーズン全日本選手権優勝, 弱虫ペダルサイクリングチーム)
沢田 時 (2020-2021シーズン全日本選手権優勝, 宇都宮ブリッツェン所属)
小坂 光 (2021-2022シーズン全日本選手権優勝, 宇都宮ブリッツェン所属)

(2) サイクルスポーツに親しむ取組の展開

「自転車のまち宇都宮」の更なる推進に向けて、多くの方々が自転車の安全利用を理解し、サイクルスポーツに親しめる取組を展開

① 一般参加者を対象としたレースの開催

- ・ 全日本選手権のコースを活用したエンデューロの開催 (13日)

対象：中学生以上の男女, 1チーム2名～最大4名

定員：30チーム

※エンデューロ
決められた時間での周回数
を競う, 耐久レース



3 今大会の主な取組

(2) サイクルスポーツに親しむ取組の展開

② 様々なサイクルスポーツイベントの実施

- マウンテンバイクの体験コーナー（13日，14日）

場所：にぎわい広場

- キックバイクレースの開催（13日 10:00～） **拡充**

主催：とちキッズCUP実行委員会

場所：第3駐車場内特設コース

対象：2～6歳男女

定員：120名

- BMXのパフォーマンス（14日 12:20～）

演者：池田 貴広 氏

場所：第3駐車場特設スペース



【池田貴広氏プロフィール】

1990年5月17日生まれ/ 千葉市出身

プロBMXライダー，株式会社サイクレント代表取締役

- ・2008年，当時最年少の18歳でプロデビュー
- ・2010年から海外進出し，国際大会優勝，7種のギネス世界記録達成，シルクドゥソレイユ世界ツアー出演を果たし，計23か国へ遠征
- ・2021年，TOKYO2020 パラリンピック閉会式出演
- ・FIBA 3x3 World Tour Utsunomiya Opener 2022・2023オープニングセレモニー出演

3 今大会の主な取組

(3) 集客促進に向けた取組の展開

子どもから大人まで幅広い層が楽しめる付帯イベントの充実など、集客促進に向けた取組を展開

① 付帯イベント等の充実

- ・ 飲食ブースやキッチンカーを集めた「食」を楽しめるエリアのほか、アウトドア関連ブースの設置（13日，14日）

場所：にぎわい広場

- ・ ろまんちっく村内における同時開催イベントとの相互連携 **新規**

- ▶ 「歌う海賊団ッ！」自主公演（13日 11:00～）
ローズハットでの自主公演後，シクロクロス会場に移動し，キックバイクレース会場での子どもたちの応援等を実施

- ▶ 大鍋祭り（14日 10:00～）

CRT栃木放送主催で，第3駐車場において4店舗が出店（予定）

- ・ ろまんちっく村内を周遊するスタンプラリーの実施（13日，14日）

② 様々な媒体を活用した大会の魅力発信

- ・ HP，SNS，リーフレット等での情報発信
- ・ WEB広告を活用したデジタルマーケティング **拡充**
- ・ 市内のデジタルサイネージの活用 **新規**



▲アウトドア関連ブース



▲大鍋祭り（CRT栃木放送主催）



▲歌う海賊団ッ！



◀スタンプラリー